







赤

穂

民



毎週土曜日発行

報









第2180号 平成28年4月2日	赤	穂	民 斠	え 毎3	周土曜日発行			(4)
 市民の皆様へ 赤穂市議会 政翔会便り No. 24 メンバー:田端智孝、竹内ともえ 家入時治 平日連絡先: TEL 0791-46-2340 (三菱電機労組内・家入) 	⇒ (示視県)> (安昭市)) (1000)	「「「「「「「「「」」」」」」 「「」」」」 「「」」」 「」」」 「」」」	未子(新採用)▽赤穂東= 未子(新採用)▽赤穂西= (たつの市立美津)岡部留 (たつの市立美津)岡部留 (たつの市立美津)岡部留	▼ 示和西	町 町 町 町 町 町 町 町 町 町 町 町 町 町 町 町 町 町 町	赤穂=◎小野晴也(赤穂 初適所への配置となるよ う人事を図った」として いる。4月1日付。◎は昇 任・昇格。 ▼中学校 【校長】>坂越=◎安井 誠治(赤穂教頭)【教頭】>	ンに基づき、夢を育む教 た。小学校99人、中学校29 まえ、組織的な教育活動 まえ、組織的な教育活動 まえ、組織的な教育活動	度末の教職員人事異動を 赤穂市教委は平成27年
地場産業、観光、移住、子育で支援等の施策を質す 平成28年第1回定例議会は2/23(火)開会し、H28年度各会計当初予算、 補正予算、条例の制定・一部改正などについて、各会派の代表質問・関 連質問及び一般質問で施政を質しました。また、委員会において慎重審 議の上、全議案を可決し、3/22(火)閉会しました。 市長の施政方針には、赤穂市総合戦略の4つの基本目標に基づく施策	(城西)▽有年=山根一正 (原)▽御崎=前田達行(原)▽御崎=前田達行	7 示惠雪————————————————————————————————————	 ■○鍋島真弓(赤穂市教) □い鍋島真弓(赤穂市・勧奨) 江利恵子(赤穂西・勧奨) 江利恵子(赤穂亜・勧奨) 二八恵子(赤穂亜・勧奨) 二八市子校 三平(赤穂西教頭)▽坂越 三平(赤穂西教頭)▽坂越 	観田一正(赤穂・勧奨)和元(有年・定年)◇教諭= へ((赤穂・勧奨)な竹秀	入江・教育次長	藤本·高雄小校長	森本・塩屋小校長 5	安井・坂越中校長
と、総合計画に基づく5つの柱ごとの施策が盛り込まれています。 赤穂市総合戦略に関する政翔会の代表質問の主な項目 〇地場農林水産物の販売・加工のための拠点整備と赤穂ブランド推進事業 について、「忠臣蔵」「塩」「水」をミックスしたブランド化推進を。 〇お試し暮らし住宅事業と移住体験バスツアーについて、生活者視点は。 〇観光客おもてなし事業(スポーツ・文化合宿等の宿泊費助成)の内容は。	西•普通) 西•普通)	◇校長=小山寛(塩屋・定 柔山明彦(赤穂・赤穂市教 森山明彦(赤穂・赤穂市教 茶山明彦(赤穂・赤穂市教	四山修(城西主査)【退職】 二本松依世(尾崎)▽兵庫 二本穂)【事務職員・ 学校副主幹】▽城西=◎ 学校副主幹】▽城西=◎	四、高粱-湾日図7/6	西2758推―睪田易子/尾海2758推―睪田線(御崎)大太(尾崎)上田穣(御崎)大太(尾崎)上田穣(御崎)大藤原周平(新採用)▽坂越藤原周平(新採用)▽坂越	子(城西)大谷尚弘(坂越) 子(城西)大谷尚弘(坂越)▽尾崎= 本郷摩耶(坂越)▽尾崎= 本郷摩耶(坂越)▽尾崎= な海摩耶(坂越)▽尾崎= (有年)▽御崎=柴山美恵	>御崎=◎岡俊惠(尾崎 >城西=岩本和美(御崎) >城西=岩本和美(御崎) >城西=岩本和美(御崎)	崎=田中ひろみ(赤穂西)●「「「「「「「「「「」」「「「」」「「「「」」「「「「」」「「「」」「「「
 〇中学生第3子手当支給事業の対象者拡充を検討できないか。 〇空き家対策を充実させる情報システムの活用方針は。 赤穂市総合計画に関する政翔会の代表質問の主な項目 〇旧赤穂上水道完成400年記念プロジェクトの目的と期待する効果は。 〇NHK大河ドラマの誘致につながる具体的な誘致活動とは。 	から電車で来穂する観 から電車で来穂する観	ヽは るッヽ゚	更。御崎の毎浜公園や でする観光周遊バス で陣たくん号」の路線 で陣たくん号」の路線 でする観光周遊バス 日曜と羽目に	`往かス 復ら「 し赤す	商品開発を実施するほお、 回廊」として整備	つの、梅と交ら」流 け技京を和付総の・ も術都組歌金額概人「	「温」を活用した 「温」を活用した	塩で海干、
 〇職員の人事評価制度と人材育成、専門性のある人材採用を。 ○使用料・手数料等の審議会開催は、消費税の増税や日本経済の動向から 鑑みて、見送るべきではないか。 ○学習支援教員1名の配置によるきめ細やかな支援の内容について。 ○子育て悩み相談、子育てグループの育成について。 ○文化会館の集客力を上げるため、大衆的催しを増やすべきではないか。 	車内に流し、旅情を演で「四十七士の歌」を	「寄桃通降休」	そこから、随たくん号」 で40分以上を要した。 下車して「陣たくん号」 に乗れば8分で「海の 駅」に到着できる。	番州赤穂駅まで行き、 一番が坂越を訪れる場	定月歴し、	市長が発露。田辺の 市長が発家。田辺の でながりもあり、ス つながりもあり、ス う。 田辺市をエリアに	に着手する計画を明ら かにした。 市によると、田辺市	京つけもの
(161よって元和2年 (161よって元和2年 (161よって元和2年 (161よって元和2年 (161よって元和2年 (161よって元和2年 (161よって元和2年 (161よって元和2年))、 福山と並ぶ「日本三人 に上水道」の一つ。近 に生活かされてに協会の鍋る寺に及 に出た。コースを加から加まで流 に日本三大 に日本三大 にた。コース途中に にたの名 ににたの名 ににたの名 にたかされている来 に にたかされている た に に た た た た た た た た た た た た た た た た	家の郡奉行、垂水半左半しながら約6キの行せしながら約6キの行		し (14 (14 (14 (14 (14 (14 (14 (14) ダイヤは坂 し f		備前焼や赤穂雲火焼、 「しお~回廊」の整 「しお~回廊」の整	の梅酢も新商品開発に を仲介するなど支援。 を仲介するなど支援。	て梅干を生産。副産物 た塩を田辺市へ提供し 御崎の赤穂海浜公園・
研いだりしていましたね」と当時を懐かしんでいた。 一日赤穂上水道ハイキング」として毎月 第3日曜日に開催(夏期の66~8月は除く)。 参加無料。問い合わせは赤穂観光協会☎位・ 2602。(写真は完 成400年の旧赤穂上 水道を見学したハイキング」	菜を洗ったり、お米をな。新町の上水道で野な。新町の上水道で野いのときか。「私	者はガイドの説明に興 る(72)=さつき町=は ん(72)=さつき町=は	4月2日(土)午前9	日(小どで	小学1 山茉央(上 新 七 七 末 央 (上 新	あ第 い27 剣回 剣有 道年 大ふ 会れ な (105数室) まちづくり会館 第1、3金曜日 午前10:30~12:00 その80-5307-1285 (大歌)	りかかる。 りかかる。 りかかる。	に向けて調査研究に取った跳ね橋を復元する。かつて御崎港にあ
医 本 一 市 年 年 に 天 の 同 て の 開 保 来 に の 大 学 広 の 大 学 に の に の た い た の た の 大 学 生 ば か り の ち っ た ソ フ ト テ 二 ス 六 の し た で あ る 名 地 の 大 学 に 御 崎 の 赤 、 つ た の 下 、 約 プ い た か ら 10 大 学 広 参 一 市 年 ま で あ の ち っ の 下 、 約 プ い た か ら 10 大 学 広 参 一 た の 下 、 約 の 下 、 約 プ し し た た 一 た の 下 、 約 の 下 、 約 の 下 、 約 の 下 、 約 の 下 、 約 の 下 、 約 の 下 、 約 の 下 、 約 の 下 、 約 の 下 、 約 の 下 、 約 の 下 、 約 の 下 、 約 の 下 、 約 の た の 下 、 約 の 下 、 約 の 下 、 約 の 下 、 約 た の 下 、 約 た の 下 、 約 た の 下 、 約 た の 下 、 約 の た の 下 、 の た の 下 、 約 の た の 下 、 約 た の 下 、 約 た の 下 、 約 た 今 部 の て 、 か た の 下 の 、 、 か た の で の た の 、 、 か た の に 一 で の し ん ど と な っ た の た の で 、 、 赤 穂 で の た る た の た る た ら に 、 、 、 た の た ら た ん ど な た ん ど な た ん ど な た ん ど な た ん ら た る た ん ん ど な た ん ん ど た ん ん と た ん ん と た ん た る た の し 、 、 た の し 、 、 赤 穂 で う た ん ん ど た た た た ら た た ん ん ど た た た ら た ん ん ど た た ん ん ど た た ん ん ど た ん た ら た ん ん ど た た ん と た ん と た た ん た た た ん た た た ん た た た ん た た た ん た た た た た ん た た た た ん た た た た た ん た た た た た た た た た た た た た	学生14	0人が赤穂	でプレー	月00人にお試し乗車	(尾崎)②関理咲子(塩室)	6年女子==①小川琴美 で会)②山田皓★(城 で会)②山田皓★(城 で会)③ 同 の今井悠貴(城西) 三 の 今 井悠貴(城西) 3 高 の の ち ・ (上郡) 〇 同 6 年 (上郡) 〇 同 6 年 (上郡) 〇 同 6 年 (坂 の) (城 西) (城 西)	 □①籏岡快式(相生若 何代(上郡)▽同4年=① (尾崎)▽同4年=① ○小川矩史(尾崎)③ ○小川矩史(尾崎)③ ③ 	貴(尾崎)③丸尾一朗(赤穂教室)②中川翔(赤穂教室)②中川翔 ⑤京悠雅(矢野川)▽
 レ、「大きな病院が し、「大きな病院が し、「大きな病院が してあり、ぜひ、研修 たとして考えて」とあ いさつした。市民病院 の小野成樹院長、赤穂 や央病院の長尾俊彦院 を見学。同病院を研修 たの最有力候補として たの最有力候補として たの最ら、町 してした。市民病院 うち数人が市民病院 る見込みの男子部員の して働いそう」と好印 なない距離に山もあると、 すべた。 (写 していた。 していた。 (写 したの長 (百) (回 <l< th=""><th></th><th></th><th></th><th> 2602(赤穂観光協</th><th></th><th>☆護付有料老 ンフオール 「内の海際 最高</th><th>ひほ</th><th></th></l<>				2602(赤穂観光協		☆護付有料老 ンフオール 「内の海際 最高	ひほ	

